

(神奈川県指定重要文化財)

木造地藏菩薩坐像 (慶覚院)

もと高麗寺地藏堂の本尊であつた本像は、像高一四五センチメートルを量る大ぶりの像で、右手に錫杖、左手に宝珠を執る通例の地藏像ですが、右脚をはずして坐る安坐形が特徴です。がつしりとした体軀や、張りのある面貌表現など、慶派彫刻の特徴がみられます。寄木造で玉眼嵌入がなされ、当代鎌倉仏師の制作と考えられます。

面部内に建治四(1278)年の墨書銘が残されており、造像時期が明らかになっています。鎌倉後期の関東彫刻の基準作例として重要であることから昭和47年(1972)年には大磯町



▲保存修理後の木造地藏菩薩坐像

指定有形文化財に、さらに昭和49(1974)年には神奈川県指定重要文化財に指定されました。

また近世には曾我兄弟の縁人虎御前の念持仏であるとの伝説から、「虎持延命地藏尊」として信仰の対象ともなりました。一昨年に行われた保存修理により、優れた造形がさらに明確となりました。教育委員会では本像の概要と修理状況等についてを『慶覚院蔵木造地藏菩薩坐像―大磯町文化財調査報告書第48集―』として本年3月に刊行し、現在郷土資料館にて販売しています。

◎問い合わせ
生涯学習課

☎内線323

磯っ子レポート

NO.76

7月4日の八坂神社の祭典

7月4日に子供会で八坂神社の祭典に参加しました。



▲神輿を担いでねり歩く様子

私は、「玉ぐしほうてん」という儀式に6年代表として出ました。「玉ぐしほうてん」では、2礼2拍手1礼をやりました。「玉ぐしほうてん」が終わった後は、おみこしをかつぎました。おみこしは、赤みこしと青みこしがあつて、私は赤みこしをかつぎました。赤みこしは、約4km弱ぐらい歩きました。14時30分ぐらいに、おみこしをかつぎ終わり、ご祝ぎとあてくじの景品をもらいました。その後には今度は、花車に乗って、太こをたたきました。おみこしをかつぐのは、大変だったけれど、今年でおみこしをかついだり、太こをたたくのは、

6年生で最後だったので、楽しく参加できてよかったです。

(岸本 明奈)

中丸八坂神社祭り

7月3日と4日に中丸八坂神社祭りがありました。3日の日は夜宮と言って、5、6年生が花車に乗って、たいこをたたきました。私は6年なので、大たいこをたたきました。

4日の日は八坂神社の当日で、6年生は式典に出席しました。式典では、うらやすの舞やおみこしを清めたりするなど、日本らしい文化が伝わってきました。



▲浦安の舞

中丸子供会の子供達は「子供みこし」をかついで、中丸町内をねり歩きました。とても疲れたけれど、地いきの人々とふれあえて、良かったです。

(内海 帆奈美)

大磯町子ども議会説明会

今年度の秋に行われる「大磯町子ども議会」についての説明会が、7月30日に行われました。

「大磯町子ども議会」とは、国府小学校と大磯小学校代表の生徒が集まって、町長などに町の質問をして、それについて話し合う町議会の子供版のようなものです。

説明会では、当日までの準備をする日にちを決めたり、議会が行われる部屋を見学したりしました。

議会が行われる部屋は、テレビで見ている国会議事堂みたいで、「こんなすごい所でやるのか」とちよつとドキドキしました。秋に開かれる「大磯町子ども議会」に向けて、がんばりたいと思います。

(内海 帆奈美)



◎問い合わせ
政策課

☎内線207